

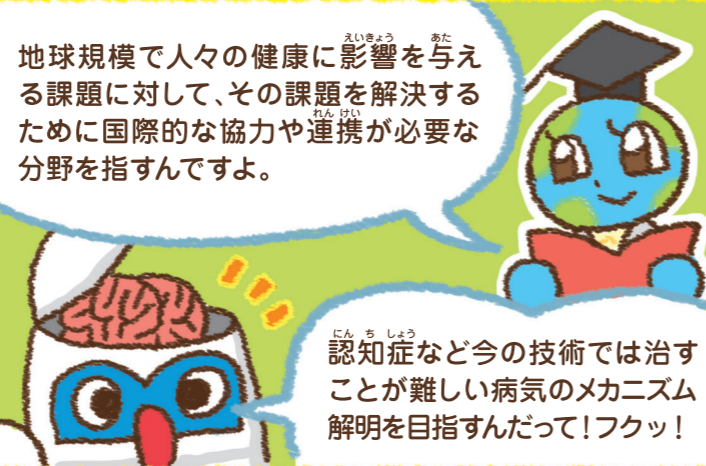
# グローバル・ヘルス ～保健医療と科学技術～

つくばコミュニケでは、最初に、グローバル・ヘルスが取り上げられているフック。



グローバル・ヘルスってなんじゃろう？

地球規模で人々の健康に影響を与える課題に対して、その課題を解決するために国際的な協力や連携が必要な分野を指すんですよ。



認知症など今の技術では治すことが難しい病気のメカニズム解明を目指すんだって！フック！

世界的に高齢化が進む中、「認知症」の対策は世界の共通課題となっているのです。

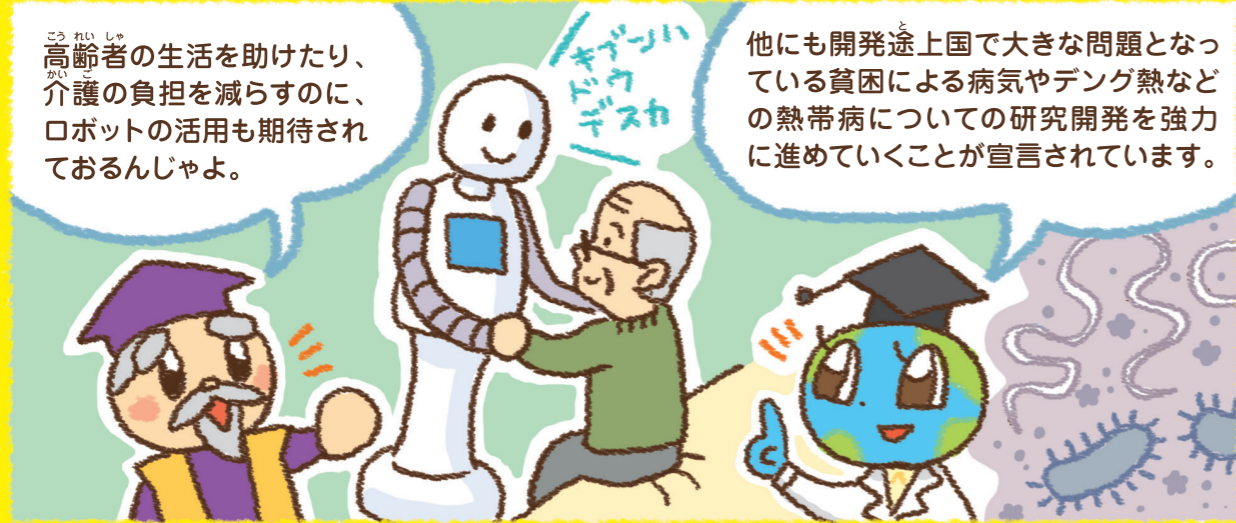


世界の認知症患者数が2050年で1億3000万人に達するとの予想もあります。

元気なお年寄りや、年を重ねてますます活躍する人が増える時代を目指していくことも大事なことですぞ。



高齢者の生活を助けたり、介護の負担を減らすのに、ロボットの活用も期待されておるんじゃよ。



他にも開発途上国で大きな問題となっている貧困による病気やデング熱などの熱帯病についての研究開発を強力に進めていくことが宣言されています。

もう始まっている！  
こんなこと

## 立ちたい！歩きたい！という 思いに答えるロボット HAL® (Hybrid Assistive Limb®)



Prof.Sankai, University of Tsukuba / CYBERDYNE Inc.

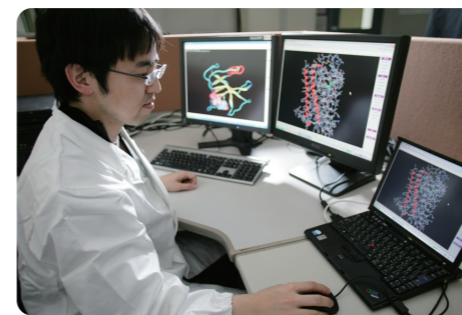
脚が不自由な人の歩行機能を改善する治療ロボットがあります。つくば市の研究学園駅近くにあるサイバーダイン株式会社が開発したHAL®です。

HAL®は皮膚に貼ったセンサーから受け取った信号をコンピューターが解析し、装着者が行おうとしている動作をアシストする仕組みです。HAL®を装着して繰り返し歩行運動をすることで、歩けなかった人が再び歩けるようになるなど、身体機能を改善・再生する効果が認められています。

HAL®には、ベッドから車いすへの移動や身体の向きを変えるなどの介助の動作で腰にかかる負担を減らせる介護支援用タイプもあります。超高齢化社会に備え、高齢者の生活支援や生活の質の向上にもロボット技術の活用が期待されています。

もう始まっている！  
こんなこと

## 安全で効果の高い新しい薬の研究 NTDs (Neglected Tropical Diseases) の制圧を目指して



NTDs(\*)は、主に開発途上国の熱帯地域における貧しい人々を中心にひろまっているウィルス、細菌、寄生虫による感染症です。世界で10億人以上が感染しているといわれています。感染により仕事ができなくなるなど、貧困状況がさらに悪化、拡大してしまうというのも大きな問題です。

つくばに研究所のあるアステラス製薬株式会社は、NTDsのうち3つの寄生虫症について、高エネルギー加速器研究機構や産業技術総合研究所などの研究機関と共同で、新しい治療薬の研究をしています。高いレベルの技術と異なる分野の高度な専門知識を駆使して、日本にはない病気の薬の開発のために取り組んでいます。

\*NTDs(顧みられない熱帯病):世界保健機関(WHO)が人類の中で制圧しなければならない熱帯病として指定している17の感染症。特に貧しい農村部や貧困層に多くみられる病気。